

I. エゼキエル書で、神のエコノミーと神のエコノミーにおける神の行動は、高く畏るべき車輪によって表徴されています：  
 エゼキエル 1:15 また、私が生き物を見つめていると、見よ、生き物のそば、地の上に、四つの顔それぞれに対して一つの車輪があった。16 車輪の外観とその構造は、緑柱石の様のであった。その四つのものは一つの姿をしていた。すなわち、その外観と構造は、車輪の中に車輪があるようであった。17 彼らはどこへ行っても、四つの方向に行き、行くときには曲がらなかった。18 その輪縁は、高く畏るべきものであり、その四つのものの輪縁は、周り全体が目で満ちていた。

- A. この大なる車輪の車軸は、神のエコノミーの中心としてのキリストを表徴します。輪縁は、キリストの配偶者、すなわち召会を表徴し、それは新エルサレムにおいて究極的に完成します。車軸から輪縁に広がる車輪のスポークは、キリストの肢体としての多くの信者たちを表徴します。
- B. 生き物のそばに地上で車輪が出現することは、地上での神の行動が四つの生き物の組み合わせに従うことを示します。
- C. 神の行動は人の中での神のエコノミーの行動であり、人を神化して、一人の新しい人生を産み出し、神がキリストの中で彼の団体的な表現と行政を得るためです。エゼキエル 1:10 彼らの顔の姿については、人の顔を持ち、その四つのものは右側に獅子の顔を持ち、その四つのものは左側に牛の顔を持ち、その四つのものはわしの顔を持っていた。エペソ 2:15 数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり、コロサイ 3:11 その新しい人には、ギリシヤ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。
- D. あらゆる地方召会とあらゆる個々の信者は、彼らに従う高く畏るべき車輪を持つべきです。使徒 13:1 さて、アンテオケの地に在る召会には、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロなどの、預言者たちと教える者たちがいた。2 彼らが主に仕え、断食していた時、聖霊が言われた、「さあ、バルナバとサウロを私のために選び分け、私が彼らを召した働きに当たらせなさい」。
- E. 車輪が生き物に従うことは、神の働きの行動が私たちの行動することにかかっていることを示します。それはまた、私たちが信仰の中で行動するなら、主が私たちの行動に従うようになることを示します。エゼキエル 1:19 生き物が行くときはいつも、車輪もそのそばを歩き、生き物が地上から上げられるときはいつも、車輪も上げられた。Ⅱコリント 5:7 なぜなら、私たちは見えるものによってではなく、信仰によって歩くからです。4:13 また、「私は信じた。それゆえに私は語った」と書いてあるとおり、同じ信仰の霊を持っているので、私たちも信じ、それゆえにまた語るのです。18 私たちは見えるものではなく、見えないものに目をとめます。なぜなら、見えるものは一時的ですが、見えないものは永遠であるからです。伝 11:4 風を見張る者は種をまかない。雲を見つめる者は刈り取りをしない。
- F. 車輪は生き物に従い、生き物は霊(the Spirit)に従い、霊(the Spirit)は車輪の中にあります：  
 エゼキエル 1:21 それらが行くときはいつも、これらは行き、それらが立ち止まるときはいつも、これらは立ち止まり、それらが地上から上げられるときはいつも、車輪はそれらに伴って上げられた。それは、生き物の霊が車輪の中にあつたからである。

- 1. このことが示しているのは、私たちの行動の中の主の行動が、肉体と成ることの原則の中にあるということです。エゼキエル 1:20 霊が行く所へはどこへでも、彼らは行った—霊が行くと行った。そして車輪は彼らに伴って上げられた。生き物の霊が、車輪の中にあつたからである。
- 2. これが主の今日の地上の行動であり、これが主の回復です。

II. 私たちは主と協力して、彼のエコノミーにおける彼の行動を遂行しようとするなら、この時代を知らなければなりません。この時代を知ることには、特別な方法で今日のキリスト教の時代を知ることであり、それは特に聖書の啓示、神聖な真理、真の正しい神学との関係においてです：

- A. 今日の神学のどれも、ニケア信条を含めて、神の永遠のエコノミーの行動における、神の霊に関する以下の五つの極めて重要な点を十分に強調していません：
  - 1. キリストの栄光が現される(復活)前、命を与えるその霊はまだありませんでした。ヨハネ 7:38 私の中へと信じる者は、聖書が言っているように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。39 イエスはこれを、彼の中へと信じる者たちが受けようとしているその霊について言われたのである。まだイエスの栄光が現されていなかったため、その霊はまだなかったからである。
  - 2. 最後のアダム(肉体におけるキリスト)は命を与える霊と成りました(ヨハネ第7章 39 節を成就しました)。ですから、Ⅱコリント第3章 17 節は「主はその霊です」と言い、次の節は「主なる霊」という複合の神聖な名称を用いています。Ⅰコリント 15:45 そこで、「最初の人、アダムは、生きた魂と成った」と書かれていますが、最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。
  - 3. 複合の霊は、出エジプト記第30章 23 節から 25 節の塗り油(一ヒンのオリブ油と四種類の香料またその効力から成る複合物)によって予表されます。
  - 4. ローマ第8章 2 節、9 節から 11 節の命の霊、神の霊、キリストの霊、キリストご自身、内住する霊はすべて、命を与える複合の霊を指しています。
  - 5. 神の永遠のエコノミーの行動における神の霊は、神の七つの霊(七倍に強化された霊、参照、七倍の日光—イザヤ 30:26)です。啓 4:5 御座からは、いなずまと声と雷鳴とが発している。そして七つの火のともし火が、御座の前で燃えていた。この七つの火のともし火は、神の七つの霊である。5:6 私はまた、御座と四つの生き物の間、長老たちの間に、ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには七つの角つのと七つの目があった。それは全地に遣わされた神の七つの霊である。

B. カトリック、プロテスタントの諸宗派、ブラザレンの会衆、ペンテコステ派、すべてのフリーグループは、彼らの不完全で非聖書的な神学によって阻まれ、神の中心的な啓示を見失い、神の霊に関する上記の五つの極めて重要な点を失い、無視し、反対するゆえに、神の永遠のエコノミーの全体に達していません。

C. 神が持たなければならない人々は、神・人であり、神の勝利者となって、神が彼の永遠のエコノミーを完成することができるようにする人々です。彼のエコノミーは召会に関するものであり、キリストのからだを生み出し、新エルサレムを究極的に完成します。

啓 2:11 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞かす。勝利を得る者は、第二の死の害に遭うことは決してない。

III. II ペテロ第1章12節は、「現にある真理」という言葉を述べています: II ペテロ 1:12 こういうわけで、あなたがたはこれらの事柄を知っており、また現にある真理の中で堅固にされているのですが、私は常にこれらの事柄を、あなたがたに思い起こさせようとしているのです。列王下 22:8 その時、大祭司ヒルキヤは書記シャパンに言った、「私はエホバの家で律法の書を発見しました」。そしてヒルキヤはその書物をシャパンに渡したので、彼はそれを読んだ。

- A. すべての真理は聖書の中にありますが、人の愚かさ、不忠信、無知、不従順を通して、多くの真理が失われ、人から隠されました。新鮮に啓示された真理は、神の新しい発明ではありません。そうではなく、それは人の新しい発見です。
- B. 主のあらゆる働き人は神の御前で、現にある真理が何であるかを尋ねるべきです。私たちは神に尋ねる必要があります、「神よ、現にある真理は何でしょうか？」。
- C. 私たちは、神の真理が蓄積するものであることを知っています。後の真理が前の真理を翻すことはありません。
- D. 神の過去の真理はすべて、今日の真理の土台を形成します。今日私たちが見るものは、神の蓄積された啓示です。
- E. 神が私たちの目を開いて、この事実を見せてくださるとき、私たちは神のみこころの潮流の中に生きていることを認識します。この潮流は、以前の時代における神の過去の働きすべての継続です。
- F. どうか神が私たちに恵み深くあって、私たちが「現にある真理」の落伍者とならないようにしてくださいませように。私たちが目を覚ましていきますように。肉に入って来させたり、自己に何の地位も得させたりすることがありませんように。神のみこころが私たちの中で達成されますように。

IV. 現にある真理とは神の中心な啓示であり、また主の現在の回復です:

B. これは三つの時期(肉体と成ること、包括、強化)におけるキリストの満ち満ちた務めであり、これが神の中心な啓示また現にある真理です:

- A. 私たちは、今日、回復とは何であるかを説明するように求められるなら、一つの簡単な文章で答えることができるべきです。主の回復とは、神が肉体と成り、肉体が命を与える霊と成り、命を与える霊が七倍に強化された霊と成って、召会を建造し、召会がキリストのからだとなり、新エルサレムを究極的に完成することです。
- 1. 第一の時期、彼の肉体と成った時期、すなわち彼の人の誕生から死までにおいて、彼は無限の神を有限な人の中へともらし、三一の神と三部分から成る人を結合シメングリングし、彼の人性において、満ちあふれる神を彼の豊富な属性の中で彼のかぐ驚い美徳を通して表現し、彼のすべてを含む法理的な贖いを完成しました。  
ヨハネ 1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。
- 2. 第二の時期、彼の包括の時期、すなわち彼の復活から召会の墮落までにおいて、彼は神によって生まれて神の長子となり、命を与える霊と成り、彼のからだのために信者たちを再生しました。使徒 13:33 すなわち、神は彼を復活させて、子孫である私たちに、この約束を完全に成し遂げられました。それは詩篇第二篇にも、『あなたは私の子である。この日私はあなたを生んだ』と書き記されているとおりです。I ペテロ 1:3 ほむべきかな、私たちの主イエス・キリストの神また父。この方はその大いなるあわれみにより、イエス・キリストの死人の中からの復活を通して私たちを再生し、生ける望みを持たせ、
- 3. 第三の時期、彼の強化の時期、すなわち召会の墮落から新エルサレムの究極的完成までにおいて、彼は彼の有機的な救いを強化し、勝利者を生み出し、新エルサレムを究極的に完成します。啓 4:5 七つの火のともし火が、御座の前で燃えていた。この七つの火のともし火は、神の七つの霊である。5:6 私はまた、御座と四つの生き物の間、長老たちの間に、ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには七つの角つのと七つの目があった。それは全地に遣わされた神の七つの霊である。3:12 勝利を得る者を、私の神の宮の柱にしよう。彼はもはや決して外に出ることはない。私はまた彼の上に、私の神の御名と、私の神の都、すなわち天から出て、私の神から下って来る新しいエルサレムの名と、私の新しい名とを書き記そう。19:9 御使いは私に言った、「小羊の婚宴に招かれている者は幸いである、と書き記しなさい」。彼はまた私に言った、「これらは神の真実な言である」。
- 4. 私たちは三つの段階の働きを行なう必要があります。それは、贖われた人々を生み出す肉体と成った時期の働きであり、召会を生み出す包括の時期の働きであり、勝利者を生み出してからだを建造し、からだは神のエコノミーの唯一の目標としての、新エルサレムにおいて究極的に完成する強化の時期の働きです。

## 経験 ①職場で、鷲の翼と子牛の足、大きな車輪によって行動して、 召会の拡張、開展、成長をもたらす

召会が正常であり、主を表現して、正しい組み合わせを持って、行き来する火があるときはいつも、主の行動がその召会と共にあります。しかしながら、もし召会が自分たちは正常であると主張しても、主の行動を持っていないなら、何かの間違っていています。もし年ごとに人数の増し加わりと肢体の間に命の成長がないなら、その召会には行動がありません。その召会には拡張も開展もありません。これは、その召会に間違ったものがあることを示します。召会が正常であるなら、そのそばには大いなる車輪があります。

あなたは仕事で日ごとに、鷲の翼と子牛の足によって行動する必要があります。あなたがこのように行動するなら、あなたの同僚は、あなたに何か力強いものがあることを見るでしょう。あなたは鷲の翼を持っているので、他の人が耐えることのできない苦しみに耐えることができます。彼らはまた、あなたの性格と振る舞いが正直で、真っすぐで、率直で、誠実で、曲がっていないのを認識することができます。彼らはあなたの上に鷲の翼と子牛の足を見るので、彼らの良心の中であなたによって責められます。あなたには仕事にこのような行動があることに加えて、もう一種類の行動、すなわち特別な行動、車輪の行動もあるべきです。最終的に、車輪の行動があなたと共にあるので、あなたの同僚の何人かは主に得られるでしょう。

### 在職青年編

神のエコノミーの完成のために働いている在職青年として、あなたは職場で鷲の翼、子牛の足、大きな車輪によって行動してください。鷲の翼とは、神の恵みによって舞い上がり、問題や困難を超越することを示しています。同僚は困難や問題があると飲み会に行き、ストレスを解消しようとしています。しかし、実際には飲み会はストレスを解消しないだけでなく、多くの場合、ストレスを増強するのです。主にある信者は四つの生き物であり、鷲の翼を持っています。そのために、あなたは必ず毎朝復興を実行してください。朝、祈り読みした御言葉により、職場で恵みの翼を持つことができます。同時にあなたは子牛の足を持つべきです。子牛は黙々と重労働に耐え、働き続けます。あなたは、重労働や苦手な仕事を避けてはいけません。マルコ福音書で、主は奴隷・救い主として人に仕え続けられました。これは彼が子牛の足を持っていたことを示します。ただし、このことはあなたに残業や休日出勤を勧めているものではありません。業務時間と最小限の残業時間で、集中して黙々と業務を遂行してください。

さらに、職場の急激な環境の変化に対応するために、時にはあなたには高く畏るべき大きな車輪の行動が必要です。例えば、会社の株価の急激な下落、競合他社の急激な動きへの対応、企業買収による株主の変更などの急激な変化が起こると、人々は慌てふためきます。しかし信者であるあなたは霊的パートナーと一緒に祈り、主が背後で何を行っておられるのかを理解する必要があります。主を愛する者にとって万事は益となるからです。あなたが信仰によって洞察力を持って落ち着いて対応するなら、車輪による畏るべき行動があることを見るでしょう。

## ②勝利者になるために、新エルサレムを唯一のゴールとする

墮落した召会への七つの手紙の中で、キリストは敗北した信者たちを召して、七倍に強化された霊としてのご自身によって彼の勝利者とし、彼の七倍の強化によって、彼の有機的な救いを経験させられます。

召会の墮落はおもに、ほとんどすべてのクリスチャンの働き人がそらされて、新エルサレム以外の多くの事柄を彼らの目標としたという事実によります。ですから、召会の墮落の下で、勝利者となって主の召しに応じるために、私たちは消極的な事柄に打ち勝つ必要があるだけでなく、それにもまして、目標としての新エルサレムに置き換わっている積極的な事柄に打ち勝つ必要があります。…私たちが福音を宣べ伝える目標は、新エルサレムでなければなりません。

### 中高生編

日本の中高生の多くは、明確な目標を持たずに、ただ親や先生に言われているからという理由で、なんとなく受験勉強をしています。しかし、学生の本分は勉強ですので、あなたは必ず明確な正しい目標を持って将来の進路(大学受験、就職など)に向かって前進してください。

歴史を学ぶことで、あなたは尊い教訓を得ることができます。教会の歴史を学ぶと、明確な正しい目標を持つことが決定的に重要であることが分かります。聖書の中には多くの事柄がありますが、神には一つの明確な目標しかありません。それはキリストのからだを建造して、新エルサレムを完成することです。この新エルサレムは永遠に、団体的に神の恵みを享受し、神を表現します。

しかし、多くのクリスチャンの働き人は、新エルサレムを完成するという究極のゴール以外の多くの目標を取り上げました。彼らは病院を経営したり、ボランティア活動を行ったり、人が滅びないためだけに福音を伝えたり、建造から離れて、罪のない聖別された生活を持つことを追求したりすることを彼らのクリスチャン生活と召会生活のゴールとしてしまいました。そのため彼らは神の行動の外でこれらのことを実行せざるを得なくなり、神の臨在と祝福を完全に失ってしまいました。

聖書の中には、多くの項目がありますが、目標は一つしかありません。それは召会を建造し、新エルサレムを完成することです。このために、あなたは毎日霊を活用して、主を享受し、主と混ざり合った生活をしなければなりません。新エルサレムを完成するという神のエコノミーのゴールに到達するため、あなたは神によって与えられたタラント(能力)を完全に活用しなければなりません。1タラントの人は1タラント、2タラントの人は2タラント、5タラントの人は5タラントを儲けなければなりません。この意味は、与えられた才能をフルに活用しなければならぬということです。全員が神戸大学に行けるわけではありませんが、あなたはあなたの分を100%フルに活用して、勉強する必要があります。このためには、あなたは必ず神のエコノミーに相応しい将来の目標を設定する必要があります。そうでないと、脇道にそれていってしまいます。神戸大学のある姉妹は、福音を伝えて大学生を得るために博士課程に進学し、将来、大学の先生になる目標を持っています。あなたを導いている兄弟姉妹とよく交わり、この姉妹のように明確な目標を定めて、勉学に励んでください。

## BSG: ヨハネ福音書第3章におけるマイルストーン: by 神大 BSG OB/OG

ヨハネ福音書は、第3章から第11章まで、命が9種類の様々な人(道徳的な人、不道徳な人、死にかかっている人、無力な人、飢えている人、渴いている人、罪の束縛の下にある人、宗教の中にいる盲人、死んだ人)の必要に応じることを啓示しています。第3章はこの最初の事例で、再生によって命が、道徳的な人の必要に応じることができることを示しています。ですから第3章のマイルストーンは、「命の再生が道徳的な人の真の必要を満たす」です。1節から6節を読んでください。

ヨハネ3:1 ところが、パリサイ人の一人で、名をニコデモというユダヤ人の指導者がいた。2 この人が、夜イエスの所に来て言った、「ラビ、私たちは、あなたが神から来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたが行なっておられるこれらのしるしを、だれも行なうことはできないからです」。

3 イエスは彼に答えて言われた、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は新しく生まれなければ、神の王国を見ることはできない」。4 ニコデモは言った、「人は年老いてから、どうして生まれることができるでしょう? もう一度、母の胎内に入って、生まれることができるのでしょうか?」5 イエスは答えられた、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は水と霊から生まれなければ、神の王国に入ることはできない。6 肉から生まれるのは肉であり、その霊から生まれるのは霊である。

ニコデモは、キリストを神から来られた教師と考えました。これは、彼がより良い教えで自分を改善する必要がある、と考えていたことを示します。ところが3節で、主の答えは、彼が新しく生まれる必要があることを啓示しました。新しく生まれるとは、神の命で再生されることです。神の命は、天然の誕生によって受けた人の命とは異なります。ですから彼の真の必要は、より良い教えで自分を改善することではなく、神の命で造り変えられることでした。彼は知識に属する教えを追い求めていました。しかし主の答えは、命の必要に彼を転向させました。

命と知識の対比について、もう少し詳しく説明します。例えば、人の恋愛や結婚は、必ずしも知識に従って行われません。もし、知識だけに従って結婚するとしたら、そのような結婚は必ず失敗します。なぜなら、夫婦の関係において、最も重要なのは愛だからです。愛は結婚生活を卓越させる唯一の道です。そして、愛には必ずしも知識が伴うわけではありません。結婚だけでなく、人生のあらゆる重要なことは、正しい知識が必要ですが、知識だけで人が正しく導かれ、満足を得ることは決してできません。

ゼカリヤ書12章1節を読んでください、「イスラエルについての神の言葉の託宣。天を延べ、地の基を据え、人の霊をその中に形づくられた神はこう告げられる」。天は地のためであり、地は人のためであり、人は神のために生きることができるように、内側に人の霊を持つ者として創造されました。人の霊は、人にとって極めて重要です。また、1テサロニケ5章23節を読んでください、「そして平和の神ご自身が、あなたがたを徹底的に聖別し、あなたがたの霊と魂と体とを守って、」。人には三部分、霊、魂、体があります。右の図を見てください。人の霊は、人の最も深い部分で、神に接触し、神から供給を受けることができる器官です。人は正しい知識を持ち、道徳的であれば、それで十分であるとは言えません。なぜなら、人の中には人の霊があり、そこに神の命が入ってくるまで、空っぽで、空虚な感覚があるからです。人は人の霊の中で神の霊によって再び生まれなければ、空しい感覚は消えません。例えば、学生はより良い学位を取るために努力します。学位を得て知識を得

ることは必要なことですが、それだけで真の満足を得ることができるわけではありません。ある調査によると、東大卒業生の三分の一はビジネス・ライフで失敗しているそうです。学位を得るために勉学に励んでいる間、また学位を得た後も、神の命と共に前進してください。そうすればあなたの人生は、いつも満足、喜び、確信に満ちたものとなるでしょう。

物質的な領域に接触する体と、精神的な領域に接触する魂は、互いに関係合っています。例えば、優れた医者は最大の良薬は喜びを持つことであると言っています。どんなに素晴らしい最先端の薬を投与しても、魂の中に生きる喜びを持っていなければ、体の中の病は癒されません。同様に、霊と魂も関係がありますので、人が神の命を霊の中に持てば、魂に極めて積極的な影響があります。命によって、魂は引き上げられ、喜びで満たされ、義の道を歩む、すなわち神の王国の生活をするように導かれます。次に、16、17節を読んでください。

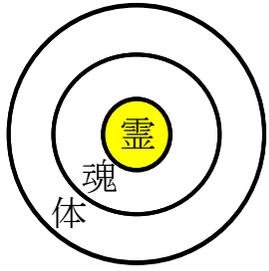
16 神はそのひとり子を賜わったほどに、世の人を愛された。それは、彼の中へと信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を持つためである。

17 なぜなら、神が御子を世に遣わされたのは、世の人を罪定めするためではなく、世の人が彼を通して救われるためだからである。

神はありのままのあなた(世の人)を愛し、あなたに神の命を与えるために、御子イエスを十字架につけました。主イエスは死んだ後、よみがえり、命を与える霊となって、あなたの霊に神の命を分与して、あなたの霊を再生させることができる準備が整っています。あなたは神の愛を受け入れる準備が整っているのでしょうか?

多くのビジネス・パーソンは、成功した後、高ぶり、飲酒、淫行などの理由で最終的に大きな失敗をします。また、別の人には、洞察力が欠けているので、良い機会をとらえることができず、失敗します。そのおもな理由は、二つあります。一つは人の中の罪の問題であり、もう一つは人の霊の中の空しさです。知識はあなたを罪から救い、空しさから救うことができないので、あなたの人生の本質的な問題を対処することはできません。しかし、神の言葉を読んで、主イエスに開き、単純に主をあなたの霊の中に受け入れることで、あなたの霊は再生され、罪は取り除かれ、満足を持ち、義の中にある神の王国の祝福に満ちた人生を歩むことができます。34節は言います、「神が遣わされた方は神の言葉を語る。彼はその霊を限りなく与えられるからである」。主があなたのキャンパス・ライフを祝福してくださいように。

### 309. Assurance and Joy of Salvation - Changed in Life (Jp 241)

1. 

What a wonderful change in my life has been wrought  
Since Jesus came into my heart!  
I have light in my soul for which long I had sought,  
Since Jesus came into my heart!  
(C) Since Jesus came into my heart!  
Since Jesus came into my heart!  
Floods of joy o'er my soul like the sea billows roll,  
Since Jesus came into my heart!
2. I have ceased from my wand'ring and going astray,  
Since Jesus came into my heart!  
And my sins which were many are all washed away,  
Since Jesus came into my heart!